平成21年2月19日

各　位

会 社 名　相　模　鉄　道　株　式　会　社
代表者名　代 表 取 締 役 社 長　　鳥　居　眞
（コード番号　9003　東証第1部）
問合せ先　執行役員グループ経営戦略室部長
小 林　啓多郎
（TEL　045－319－2043）

子会社における業績予想の修正に関するお知らせ

当社の連結子会社である相鉄ローゼン株式会社が、業績予想を修正いたしましたので、別紙のとおりお知らせいたします。

なお、当社の連結業績予想につきましては、本日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

以　上

平成21年2月19日

各　位

会社名　相鉄ローゼン株式会社
代表者名　代表取締役社長　春日　徹夫
（コード番号 8211 東証第一部）
問合せ先　経理部統括ﾏﾈｰｼﾞｬｰ　鈴木　勝美
（TEL 045-319-7081）

特別損失の発生及び平成21年２月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成21年２月期において下記のとおり特別損失が発生する見込みとなりました。また、特別損失の計上に伴い、平成21年１月13日に発表いたしました平成21年２月期（平成20年３月１日～平成21年２月28日）の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

なお、平成20年11月27日に発表いたしました「特別損失計上の見込みに関するお知らせ」では構造改革に向けた施策費用を最大15億円程度としておりましたが、具体的な内容を検討した結果、以下のとおり当初予定額を上回る見込みとなりました。

記

１．特別損失の計上見込み及びその内容

（１）今回計上見込みとなった金額

①連　　結　・・・・・　１,８４０百万円

②個　　別　・・・・・　１,８４０百万円

（２）内容

今般、当社と相模鉄道株式会社及び丸紅株式会社との間での業務提携による当社構造改革に向けた施策として、不採算事業所となっていた羽鳥店（神奈川県藤沢市）、南瀬谷店（横浜市瀬谷区）ほか２事業所の閉鎖を決定したことに伴い、平成21年２月期において、これら事業所の固定資産について減損損失５９百万円、翌年度以降に発生が見込まれる事業所閉鎖関連費用を事業所閉鎖損失として１７億８０百万円を特別損失に計上する見込みであります。

２．平成21年２月期 通期業績予想数値の修正（平成20年３月１日～平成21年２月28日）

（１）連結業績予想数値　（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	１株当たり当期純利益
前回発表予想（A） 平成21年１月13日発表	91,800	450	250	△20	△0円70銭
今回修正予想（B）	91,800	450	250	△1,042	△36円41銭
増減額（B）－（A）	―	―	―	△1,022	△35円71銭
増減率（%）	―	―	―	―	―
(ご参考)前期実績 (平成20年２月期通期)	92,484	747	584	△161	△5円64銭

（２）個別業績予想数値　（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	１株当たり当期純利益
前回発表予想（A） 平成21年１月13日発表	90,600	310	130	△60	△2円10銭
今回修正予想（B）	90,600	310	130	△1,082	△37円80銭
増減額（B）－（A）	―	―	―	△1,022	△35円70銭
増減率（%）	―	―	―	―	―
(ご参考)前期実績 (平成20年２月期通期)	91,168	658	507	△189	△6円63銭

３．修正の理由（連結・単体）

①連結業績予想

連結業績予想につきましては、特別損失の計上見込みに伴い、当期純利益が前回予想を下回る見通しとなりましたので、平成21年２月期通期業績予想を修正いたします。

②個別業績予想

個別業績予想につきましては、連結業績予想と同じ理由により、通期の当期純利益が前回予想を下回る見通しとなりましたので、平成21年２月期通期業績予想を修正いたします。

※上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以　上